

福岡県森林林業技術センター

Fukuoka Forest Research & Extension Center



林業普及指導員の活動トピックス 飯塚農林事務所

大学との連携による間伐材の有効利用に向けて

間伐材の有効利用を目指す林業関係者と、デザイン能力を発揮し地域と環境への貢献を目指す大学とが連携し、家具小物の試作を行いました。

飯塚農林事務所の林業指導普及員から、近畿大学建築・デザイン学科の学生を対象に、森林の働きや木材の特性についての講義と、間伐が遅れた森林や製材工場の見学を行いました。



学生への講義風景



試作品の展示会風景

後日、木工作家を交えた関係者の前で、学生の方々が発想した木製品のデザイン提案の場を設けました。

そこでの意見を参考に、試作品数十点が作製され、その試作品展示会を飯塚市内で行ったところ、新聞やテレビで大きく報道されました。

筑豊地区森林・林業推進協議会では、試作品の中から1作品を製品化し、管内市町村等へ配布を行い、木材の良さをPRしました。

ボランティア団体である「遠賀川源流の森づくり推進会議」では、試作品の中から一部を製品化し販売しています。

販売にあたっては、製品価格に森林整備の費用の一部を上乗せし、その収益を森林整備の費用に充てる新たな試み（グリーントレード）も行われています。

今後も私たち林業普及指導職員は、流域内のコーディネーターとして、様々な活動支援を通じて、間伐材の有効利用に向けた活動を行っていきます。

(飯塚農林 宮原)



製品化された作品

(Hikari no Tower)

デザイン：
近畿大学建築・デザイン学科
和木将憲

写真提供：
近畿大学
楠林拓 准教授